

市長に受賞を報告した平和地区社協の皆さん



平和地区社協が優良活動で表彰 全国社会福祉大会

平和地区社会福祉協議会が11月16日、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞し、同19日に市役所を訪れ太田市長に受賞を報告しました。

同協議会は、平成19年度から3年間、県からの助成を受けて災害時の要援護者支援について取り組み、要援護者マップを完成させました。今回、同マップを活用した安否確認事業が評価されたものです。

懐かしい遊びがいっぱい 平和小で「親子で一緒に遊ぼう会」

平和小学校で12月8日、平和地区社会福祉協議会主催の「親子で一緒に遊ぼう会」が開催されました。

これは、昔ながらの遊びを通して地域の交流を深めることを目的に毎年開催されているものです。参加した平和小の児童たちは大人に遊び方を教わりながら、ペーゴマやメンコなどに夢中になっていました。



ペーゴマを教わる児童たち

表彰を受けた中学生の皆さん



本市から2人が入選 中学生の人権作文コンテスト

海匝地域などの中学生の人権作文コンテスト表彰式が11月30日、市民ふれあいセンターで開催されました。この日表彰を受けたのは、全1249点の中から匝瑳人権擁護委員協議会長賞に選ばれた18人。

本市からは實川夏波さん（八一中）と稲木允乃さん（八二中）の2人が表彰されました。

スポーツで世代間交流を 交流グラウンドゴルフ大会

のさかふれあい公園で11月28日、野田地区地域振興協議会の主催で、野栄シニアクラブの皆さんと野田小5年生による交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。

後日、児童たちからシニアクラブに、「皆さんに優しく打ち方を教えていただいたおかげで上手になりました。また一緒にグラウンドゴルフをやりたいです」などと書かれたメッセージ集が贈られました。



ナイスショット！

福島へ希望の種を届けよう ひまわり里親プロジェクト

社会福祉法人九十九里ホームの皆さんが12月10日、福島県福島市にある「福島ひまわり里親プロジェクト」の事務局へ、ダンボール5箱分のひまわりの種を届けました。

このプロジェクトは、同県の有志が始めた「福島県に復興のシンボルとしてひまわりを植えよう」という活動で、昨夏に九十九里ホームとガールスカウト千葉県第98団の皆さんが同事務局から種を購入し栽培。里親となって育てたひまわりから採取した種を届けたものです。



ひまわりの里親の皆さん（出発式にて）

とん汁サービスに舌鼓を打つ参加者たち



散歩のまち匝瑳 駅からハイキング

JR東日本主催の「駅からハイキング」が12月1日、八日市場駅を起点に行われ、約800人が「植木のまち」を散策しました。

コースは、植木銘木の庭園やマキ堀の並木道、本町通り商店街を巡る約8km。参加者たちは、各所での心温まる歓迎サービスやプレゼントに、寒さを忘れて笑顔になっていました。

650年以上続く伝統芸能を体験 椿海小で狂言ワークショップ

椿海小で11月26日、県文化振興財団の主催で狂言ワークショップが開催されました。和泉流狂言師・山下浩一郎さんが講師となり、狂言の世界を解説。児童たちに、立ち方や正座、すり足などの基本的な動作を教えました。

山下さんは「狂言は今のお笑いのコントのようなもの。場面など物事を想像して楽しんでください」と語りました。



扇を使っていろいろ表現

たすきをつなぐ匝瑳高校の選手（仲町中継所）



匝瑳高校が2位に入賞 東総駅伝大会

匝瑳市役所をスタート・ゴールとするコースで12月2日、第66回東総駅伝大会が開催され、5部門に92チームが参加し健脚を競い合いました。

地元では、匝瑳高校が高校の部（5区間34.7km）と女子の部（5区間17.8km）でそれぞれ第2位に入賞する健闘を見せました。